

● 当地に滞在している邦人の皆さまにおかれましては、やむを得ず外出する場合には、引き続き、適切なソーシャル・ディスタンス（2m以上）を取り、3密（密閉・密集・密接）を避け、マスクの着用・手指消毒を行う等、各自十分な感染対策をしていただき、感染状況に関する報道等の情報をご確認くださいませよう、お願いいたします。現在流行しているウイルスは、インドと同様変異株の可能性が高く、以前と比較して、若年者も感染しやすくかつ短期間で重症化しやすい特徴を持っています。医療機関の病床数もかなり逼迫している状況となっており、各自感染防御に十分つとめていただくようお願いいたします。

● 警察に確認したところ、この行動規制に違反した場合は、当地の感染症に関する法律（Infectious Disease Act, 2020(1964)により、最悪の場合、逮捕され1ヶ月以下の留置若しくは100ルピーの罰金、またはその両方が課される可能性があります。

※ 在留邦人で在留届を提出されていない方がおられましたら、大使館へ在留届を提出するようおすすめ願います。近く帰国・離任を予定されている方、または既に帰国されている方は速やかに大使館までご連絡下さい。

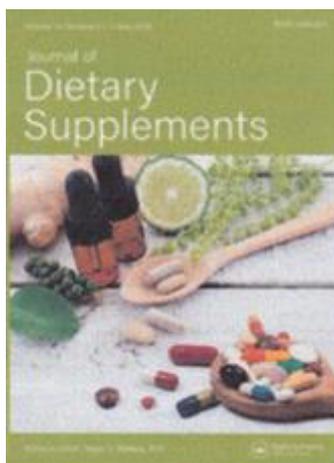
オンライン在留届HP : <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete>

大使館代表電話 4426680 閉館時は上記電話から緊急電話対応者に転送されます。

## ■2020年度活動報告

1. ネパール政府にヨード欠乏症に関する「提案」を行い、官報「Dietary Supplements」に掲載されました。



Journal:	Journal of Dietary Supplements
Manuscript ID:	WJDS-2020-0304
Manuscript Type:	Original Research Article
Date Submitted by the Author:	08-Oct-2020
Complete List of Authors:	Joshi, Anand; Public Health and Infectious Disease Research Center Banjara, Megha; Tribhuvan University Institute of Science and Technology, Central Department of Microbiology Gurung, Chitra; Public Health and Infectious Disease Research Center Singh, Vivek; Public Health and Infectious Disease Research Center, Pant, Krishna; Public Health and Infectious Disease Research Center Atsuta, Chikayoshi; Society for Eliminating Nepalese Iodine Deficiency Joshi, Aditya; Public Health and Infectious Disease Research Center
Keywords:	risk behavior, iodine deficiency disorder, urine iodine estimation, salt iodine estimation

Assessment of Behavioral Risk Factors for Iodine Deficiency Disorders, Iodine Levels in Salt and Iodine levels in Urine of Children in Sindhupalchowk District, Nepal

タイトル ; ネパール・シンズーパルチョーク郡に於ける、ヨード欠乏症、食塩の濃度、子供の尿中ヨード濃度に対する消費行動について

\* 提案書著者リストに熱田親憲理事長（7段目）掲載

概要

目的 ; ヨード欠乏症は内分泌の誰でも罹る予防できる病気である。子供や妊婦はこの病気に罹りやすい危険を持っています。この研究はその危険因子を探求するものである。

実施要領

調査地区 Ramadevi 中学校と周辺家庭（SangaChowk, Sindhupalchowk district）

調査期間 2018年～2019年

サンプル数 家庭・生徒 66